

笠原小学校2・3・4年生保護者との意見交換会 主な意見・質問と回答

日時：7月10日（金）午後6時30分～8時10分

場所：笠原公民館

主催：笠原小学校PTA

参加者：17名

出席者：笠原小学校PTA会長、顧問

齊藤教育部長、野本参与、清水副部長、鳥沢課長、藤平副課長、新井副主査

1. 開会
2. 挨拶（PTA会長・教育部長）
3. 資料説明
 - （1）鴻巣市立小・中学校通学区域審議会後の経緯
※令和2年度笠原小学校入学予定であった児童が0人となったことへの対応
 - （2）これまでの笠原小学校に関する審議会等の経緯
 - （3）笠原小学校児童生徒数の現状と推移
 - （4）教育委員会としての今後の方針（笠原小学校の統廃合について）
4. 昨日（7月9日）の意見交換会での意見について
5. 意見交換
6. 閉会

【意見と回答の要旨】 ※「→」は当日の回答

- ① 廃校になる予定は来年度なのか。
→慎重にという意見や交流事業を実施してから統合した方が良いという意見があり、今年度ではなく、来年度以降と考えている。意見を聞いて早いうちに決定したい。
ただし、あくまで、議会の議決により決定するものである。
- ② 中学校との接続について、今後は通学区域審議会にて決まるのか。
→同じ小学校から、同じ中学校に上がるという考えから、通学区域審議会等を開催し、審議してもらおう。例えば兄弟で別れるようなことがないように検討する。
- ③ 笠原小学校の廃校ありきの意見交換会という認識でよいか。
→教育委員会として廃止の方針を決定させていただいた。その上で、意見をいただきたい。
- ④ 前にもこのような会議があって、複式学級をやってみても良いのではないかという意見もあったと思うが、その検討もなく決定で良いのか。
→小規模校や複式学級に関するメリットとデメリットについては、認識した上で、このままでは市内の他の学校との格差、学校運営上の課題等、デメリットが大きいと判断し、教育委員会として決断をした。
- ⑤ 去年から教育委員会の説明が足りず、信用できない。新入学児童だけでなく、在校生も集めて説明するべきだったのでないか。個別対応であると不安になると思う。丁寧に説明してほしい。
→不安にさせた部分は申し訳ないと思うが、騙そうとしたり、学校をなくして売ってしまおうなどという考えは全くない。教育委員会の考え方は、子どもたちの将来を考えてのことだということは、理解してほしい。
- ⑥ 在校生の保護者には送迎等の情報が入ってこない。人づてに耳にする形になっていた
ので、教育委員会からの積極的な情報提供をお願いしたい。
- ⑦ 教育委員会からの令和 2 年度に向けた教職員配置に関する電話対応について、今後も続けるようであれば、事前に実施に関する周知をお願いしたい。また、未就学児の保護者が話をする機会も設けてあげてほしい。
- ⑧ 統廃合スケジュールの中で最短と最長の要因は。
→「交流事業等を実施する準備期間」と「保護者や地域の意見」が、スケジュールを決定する上で重要と考える。何年も先ということは考えていない。

- ⑨ 来年度は笠原小学校には入れさせないのか。
→笠原小学校が指定校のため、基本的には笠原小学校への入学となる。通学区域審議会での答申に基づく個別の対応により、保護者からの連絡をいただきながら、意向を確認したい。来週（7月15日）に実施する未就学児の保護者との意見交換会により、意見をいただく予定となっている。
- ⑩ 廃校までのスケジュールについて、準備期間を設けて、理解を求めていくとあるが、地域や保護者から理解を得られる方策は。
→全員の理解を得ることは難しいと思っているが、方針は決定させてもらったため、意見交換等を実施し、丁寧な説明をしていく。
- ⑪ 笠原小学校を廃校とするに至った意思決定は何があったのか。
→児童数が減少しており、1年生が0人であることが最大の要因。
児童が1人、2人いたとしても、良い教育環境という意味では、存続は難しいと考える。
- ⑫ 少なくとも一人でもいれば続いてほしいと思っていたが、廃校が決定しているならば、交流を2学期からする、合併が決まっているなら来年度から合併するなど、早めの対応をしてほしい。
- ⑬ 中学校に兄弟が行っているため、体操着や学用品など、兄弟で共有する。
どちらに行くのかははっきりしてほしい。
→中学校への接続に関しては通学区域審議会で審議し、兄弟で別々の学校に行くことのないよう、経過措置等を検討したい。
- ⑭ 交流授業の実施について、統廃合が決定してから始めるのではなく、子どものことを考えて早めに実施できないのか。
→できるだけ早く実施できるように調整していきたい。
- ⑮ 議会での決定というが、議会はいつ開催されるのか。
→3か月に1回開催。未就学、地域の皆さんとの意見交換会を経てスケジュールを決定次第、議会へ条例の改正案を提出したいと考えているため、9月は難しく、最速でも12月の提案と考える。早めに対応したい。

- ①⑥ 保護者や地域の方向性がずっと一致しなければ、後ろ倒しになってしまうのか。それとも教育委員会で決定されるのか。
→教育委員会において廃止の方向性は出しているため、皆さんに聞きたいのは、廃止するかしないかではなく、時期的な部分を伺いたい。(最終的には教育委員会として決断する。)
- ①⑦ 保護者が来年から廃校にして鴻巣中央小学校に行きたいと言えば、鴻巣中央小学校に行けるという認識で良いか。
→大多数が来年からということであれば、意見を尊重する。ただし、交流事業等の準備期間の必要性を感じるため、話し合いの中で決めていければ良いと思っている。
- ①⑧ 話し合いの中では、なかなか発言できなかつたりする方もいると思う。
子どもが通っている間に廃校というのは考えていなかったが、人数が減ってくるとやむを得ないと思っている。
最初に統廃合に関する話があった時点では、未就学であった子が、いつの間にか学年も上がっているため、慎重な意見交換は大事だとは思いますが、ゆっくりしては、最後に残されるのではないかという不安がある。
保護者や地域で意見をまとめ、方向性が決まるような会議やアンケートを実施してもらいたい。
卒業してほしかったが、早めに意見をまとめて方向性を出す必要があると思う。
どのような形でもよいので、教育委員会からの情報提供、意見をいただきたい。
→意見を踏まえ、半年や1年先ではなく、早い段階で時期を示していきたい。
- ①⑨ 鴻巣中央小学校に通うにあたっては、スクールバス等の送迎方法をしっかりと決めてほしい。
→登校支援については、今後の児童数等により変わってくると思うので、早めに決定できるようにしたい。廃校になった場合には、2キロの基準は残しつつ、下校の支援についても検討が必要と考えている。
- ②⑩ 校名や校歌、PTA等の役員について、今後方向性を示してほしい。
→現在ははっきりした方針は出していないため、他の自治体での事例を参考にしながら、検討していきたい。

- ⑳ 来年度以降の笠原地域の入学予定者数は。
→7月1日現在の数字で住民登録上14名。再来年以降の人数は現在資料として持っていない。また、資料にある児童数の推移に関しては、入学率を乗じているため、全員が入学するわけではない。
- ㉑ スクールバスについては自宅に行っているのか。子どもが歩いて集合場所まで行くのか、保護者が送ってくるのか。
→集合場所まで保護者が付き添う形で登校支援を実施している。現在はこのような対応であるが、人数によってバス等の大きさ、通れる道も変わってくるため、今後は別の方法も検討する。
- ㉒ 鴻巣中央小学校に通学することと、笠原小学校に通学することで、保護者の負担についての違いはあるのか。
→現状では、(登下校の課題以外には)特にない。
- ㉓ 廃校という言葉がマイナスなイメージしかないため、統合といったような新しい学校を造り上げるといった雰囲気でも議論が出来れば良いと考える。
→例えば、教職員の配置等について笠原小学校の先生を鴻巣中央小学校へ配置するなどの対応をとれば、知っている先生がいるということで、子どもたちも馴染みやすいと考える。